

令和6年度 授業改善推進プラン

青梅市立西中学校

教科名 **技術・家庭** 科

1 生徒の実態

1年	2年	3年
○積極的に発言することや自分の意見を積極的に伝えようとする生徒がいる。 ○授業では、最後まであきらめずに作業に取り組む生徒もいるが、私語が多くなり集中力が欠ける生徒が見られる。 ○授業の内容を理解し、深めようとする生徒もいるが、理解しようとして、個々の対応を求める生徒が多い。	○クラスの人数が増え、授業の集中力がかけている。 ○積極的に発言することや自分の意見を積極的に伝えようとする生徒は多くいるが、授業規律が乱れることがある。 ○授業では、最後まであきらめずに作業に取り組む生徒もみられるが、集中力が続かない生徒もみられる。 ○授業の内容を理解し、深めようとする生徒は少ない。	○授業に真剣に取り組む姿勢は身についてきたが、知識が定着しない生徒が多い。 ○作業やレポートなど真面目に最後まで取り組み仕上げることはできているが、向上心を持って仕上げるのが苦手な生徒が多い。

2 指導上の課題

1年	2年	3年
○授業規律を守らせること。 ○授業で指導した内容について、知識や技能として身につけさせること。 ○実習等で苦手と感じている生徒について、配慮しながら授業を進めること。	○授業規律を守らせること。 ○授業や実習で指導した内容について、実生活に生かせるように身につけさせること。 ○実習があるので、班での活動を充実させること。	○授業で指導した内容について、知識や技能として身につけさせること。 ○実習等で苦手と感じている生徒について、配慮しながら授業を進めること。

3 授業改善の視点とその方策

1年	2年	3年
○実習の授業では特に、グループワークを中心に、お互いに教え合いができるような展開を工夫する。 ○視聴覚教材を利用することで、視覚的にわかりやすい授業展開をする。 ○安全な授業、実習を行うために、教室環境の整備や消耗品、備品の整理をし、生徒目線で整理していく。	○実習の授業では特に、グループワークを中心に、お互いに教え合いができるような展開を工夫する。 ○安全な授業、実習を行うために、教室環境の整備や消耗品、備品の整理をし、生徒目線で整理していく。 ○調理実習では、生徒の動線を考えた用具や材料の配置を工夫。	○実習の授業では特に、グループワークを中心に、お互いに教え合いができるような展開を工夫し、作業の能率が上がるように援助する。 ○安全な授業、実習を行うために、教室環境の整備や消耗品、備品の整理をし、生徒目線で整理していく。